



沓掛小学校だより

3月号

未来を拓く ~元気・やさしさ・かがやく瞳~

NO. 576

<http://www.suginami-school.ed.jp/kutsukakeshou>

学年末を迎え（春はすぐそこに）

校長 師岡 孝明

一年が過ぎるのは、早いものです。校庭の黒土にも春の匂いが感じられ心地よい季節となりました。いよいよ年度末の3月が始まります。この一年間で、子供たちは心身ともに大きく成長しました。体格もひとまわり大きくなったのではないのでしょうか。そして、心も一段と大きく育ったように感じられます。

入学式の日には、めずらしいものばかりで周りを見回していた1年生も、今では友達と仲良く縄跳びをしたり校庭で元気に遊んだりしています。また、授業中に担任の先生の話をしっかり聞いて、真剣に学習に集中しています。中学年の子供たちも、授業中に私語があって注意されることがあったのですが、今では見学に行き気付いたことをメモしたり、譲り合いながらも自分で考えた質問を進んですることで課題を解決したり、集中して学習に取り組むようになってきました。沓掛小学校に集う一人一人の子供たちの成長をととても嬉しく感じています。

桜が咲く1学期の始業式に、私は子供たちに「人のためになることをやりましょう。」という話をしました。また、夏休みを迎える前には「長期休業中なので、今度は家族のためになることをやりましょう。」というお話をしました。2学期の始業式では、今度は自分自身に目を向けて、「自分自身が毎日頑張れることを見付け続けましょう。」と話しました。子供たちも社会の一員として生きる限り、自分以外の周りに対して目を向けられるとともに、自分自身にもしっかり目が向けられる、「人間」に育ってほしいといつも思っています。この話を真剣に聴いていた子供たちですが、一人一人がどのようなことを実行したのか、どの程度達成できたのか、御家庭でもきいていただきたいと思っています。

3月はまとめの月です。努力した自分の姿を振り返って、自らの成長を確認させたいと考えています。今の自分を知ること、新たな目標が見えてくるものです。

これからは6年生を卒業生として送り出す準備と新1年生を迎える準備が始まります。6年生は小学校生活の総まとめとして、責任ある行動をする姿を最後まで見せてください。中学進学を前に、希望や不安が混在していると思います。しかし、各自がこの沓掛小学校での輝きある思い出と学習をこの時期だからこそしっかりまとめてほしいと願っています。約一か月前から6年生5・6名と給食会食を行っています。わたしからの質問は「小学校時代の最大の思い出は何ですか。」「中学校に進学して一番取り組みたいこと。」の2点です。一人一人がそれぞれに思い出をもち、さらにこれからの希望をもっていることが分かるとても貴重は時間でした。

各学年は一年間のまとめを行い、進級への準備を滞りなく進める時期です。一人一人の子供にとってこの一年間努力したことがたくさんあるはず。そうした数値に表せない「心の宝物」をより多く思い起こし、この年度が修了することを願っています。

最後になりましたが、この一年間多くの方々のご協力をいただきました。PTA役員の皆様、学級代表・各委員会の皆様、PTA会員の皆様、学校運営協議会委員の皆様、学校支援本部の皆様、地域町内会の皆様、各種関係諸機関の皆様、様々な行事等でお手伝いいただきました皆様方。みなさまの御支援がありまして、本校の教育活動が推進できましたことを深く心より御礼申し上げます。